

## 祇園神楽

祇園神楽は、毎年 7 月 14 日に田歌の集落の八坂神社を中心に行われる多彩な祭りである。鼻の長い天狗や鬼など民話の登場人物に扮した住民たちが、太鼓や笛を鳴らしながら、神社で神聖な神楽を神様に奉納するために村中を 1 時間かけて練り歩く。400 年近い歴史を持つこの祭りは、集落にとって 1 年で最も重要な行事であり、数百人の観客が集まることもある。

祇園神楽の起源や歴史は定かではない。1640 年以降、田歌で行われていたと考えられており、その起源は祇園（八坂）神社の本家である京都にあるかもしれない。1600 年代半ばに美山地区が飢饉に見舞われた際、疫病除けのために創建された京都の祇園神社の神々に祈願したのが始まりという考え方もある。

現在の祇園神楽は五穀豊穡を祈るものであり、村の安泰を祈るものであり、地域の絆を深めるためのものである。祇園祭の囃子は口伝で伝えられてきたもので、この囃子を覚えると一人前の田歌の住人になれると言われている。参加者の多くはそれを暗記しているため、稽古は祭りの前の 1 週間だけ行われる。